

特定非営利活動法人
福山市身体障害者団体連合会

第12号

福山市身連通信

2014（H. 26）年5月

発行者 NPO法人 福山市身体障害者団体連合会
編集者 福山市身連 広報部市身連通信編集委員会
連絡先 電話 FAX 084-983-2411

目 次

NPOって 他	三月連絡役員会	その続き	市身連へのご寄付のお願い	広島県身連 第二回総会	ふれあいサロン開催	NPOセミナー受講報告2	NPOセミナー受講報告1	市身連 その続き	市身連 年度末第三回理事会
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1

NPO法人 福山市身体障害者団体連合会

平成二十五年度第三回理事会

日時 平成二十六年四月二十日
場所 福山市市民参画センター

〔年度替わりの諸行事をひかえ〕福山市身連は平成二十五年度の締めをして、新年度の総会に向けての準備を整えるための理事会を開催しました。

今回の理事会は事務局等の都合で多少開催通知の連絡が緊急となったため、出席の状況が心配されましたが、四名ほどの欠席委任を含めほぼ全員の意思表示と出席が確保でき、委員会として成立できました。また、この理事会には理事の欠員となった神辺の代表者も参加されましたが、総会後は晴れて理事として参加いただきます。

理事長あいさつ

前川 昭夫理事長

皆さんおはようございます。春 出席して頂きましたが、今後このなにもここもエアコンをつけてあるような寒い中ご出席ご苦勞様です。先ずお詫びですが、今回の理事会についての連絡が少し定款にあるように余裕を持っていたの連絡が出来ず、皆様が日程を前もって知っておられたことを頼りに開催でき

頃と思いますが、市身連としての事務所を佐波の人権センターの中に開設出来る運びになったことが一つ大きく報告できることかと思

います。
この理事会では、事業の報告とか決算の報告をし、来年度の計画も各事業部で考えてもらっており、予算もきっちり作ってもらっているようですから、これを提案してもらって、来年度の活動は出来るわけですが、このような自主的な

理事会 審議事項

六項目

一、議事録記録者と署名人
議事録は 藤井貢事務局長 と
重藤 弘明事務局次長 が作成し
署名人は 江草 忠儀理事 と
菅原 晃理事 がおこなう。

二、前年度事業と決算の報告

事業報告については広島県に提出する報告書をそのまま事務局が日

三、監査報告

会計監査は四月十四日、中央ビル事務所、総務会と同時に、監事の鴨田氏、馬場氏によって行われ、報告書が提出されており、理事会には欠席でしたが承認されました。

活動だけでは、連合会運営の資金には繋がりませんので、何か公的な事業を受けれるようにして、資金を伴う活動をみだして行かなくてはなりません。色々な障害者関係事業がありますので、役所や専門的な人たちにも相談して、二十六年一年かけてそれを決めていきたいと思っています。理事長としてそのためこの任期いっぱいには努力していく所存ですので、よろしくお願いいたします。

四、新年度事業計画と予算

総会資料として、はじめに 題として序文が報告されたが、それはどっちでもいいから、具体的な活動予定が全く出ていないことはなげだと、言うことになり、全く不備であり、一応提出されている各事業部の計画と照らし合わせ、総会に間に合うよう作成することを事務局が約束して承認。

予算については、事務所移転の予定もあり、管理費関係だけで約五〇万円の支出が見込まれ、各事業の予算としては、収入の見込まれない中、五部門で各一〇万円づつを予算として割り振っておきたいと説明があり、それを了承となりました。

五、新年度役員の内

副理事長であった神辺協会の渡部氏が亡くなられ空席の理事に、後任の神辺協会長の田上敬二氏を理事に推薦し、全員賛成。また、監事の馬場氏が退任を申し出られており、これを認め、その後任に同

じく神辺協会の、園生浩治氏が推薦され全員賛成。二人は五月の総会で決定されます。

六、総会の日程と議題

日程については、あらかじめ予約を取っていた、五月の八日に午前十時から開催とし、案内をする。議題としては、

- ① 事業・決算の報告
 - ② 監査報告
 - ③ 新年度事業計画・予算案
 - ④ 役員の決定
- 等が予定されております。

＊ 連絡事項

以上で理事会としての議事を終了し理事会は終わりましたが、連絡事項として、相談協の研修会の提案がありました。平成二十五年度事業としての研修会を、新年度に入った4月にやるということ、反対意見も多々ありましたが、とにかく四月二十八日に行う予定で案内を出すということです。

障がい者相談員委託更新

手間取り、少々予定通りに行っていないようです。

福山市から委託されている障がい者相談員の任期が三月で終わり、改めての推薦を福山市身連から出してもらうよう依頼があり、二年前の時のように各協会長から、引き続き推薦出来る人を出して、連合会に取りまとめて市へ提出することとしました。

市からの連絡は年度末ギリギリでしたが、各協会への伝達に少し遅れました。

また公募の人には直接通知がありました。今年から連合会から一緒に申請してくださいということになったようです。

例年、春と秋の二回、天皇、皇后陛下主催の園遊会が、東京の赤坂御苑で開催されておりますがその招待者は中央官庁が各分野毎に推薦した功労者や国会議員、官僚、知事など自治体関係者等夫妻が、人気グループなどと選ばれて招待され、雅楽の流れる中、軽食をいただきながら、天皇陛下始め皇族の方々と言葉を交わされることになるようです。

市からの連絡は年度末ギリギリでしたが、各協会への伝達に少し遅れました。

前川理事長 春の園遊会へ招待される

例年、春と秋の二回、天皇、皇后陛下主催の園遊会が、東京の赤坂御苑で開催されておりますがその招待者は中央官庁が各分野毎に推薦した功労者や国会議員、官僚、知事など自治体関係者等夫妻が、人気グループなどと選ばれて招待され、雅楽の流れる中、軽食をいただきながら、天皇陛下始め皇族の方々と言葉を交わされることになるようです。

市からの連絡は年度末ギリギリでしたが、各協会への伝達に少し遅れました。

また公募の人には直接通知がありました。今年から連合会から一緒に申請してくださいということになったようです。

市からの連絡は年度末ギリギリでしたが、各協会への伝達に少し遅れました。

また公募の人には直接通知がありました。今年から連合会から一緒に申請してくださいということになったようです。

市からの連絡は年度末ギリギリでしたが、各協会への伝達に少し遅れました。

この春の園遊会に広島県では湯

たようです。

セミナー受講報告 市身連三役 3名

NPO法人 ひろしまNPOセンター 主催

仕組みと支援を使えるNPOになる！

日時 二〇一四年二月二三日
場所 広島市中区 幟会館6F

福山市身連に届いたひろしまNPOセンターからの表題のようなテーマでの案内を見て、NPOとして発足まもない市身連としては大いに参考になる講習が聞けるであろうと、三島副理事長、重藤事務局次長、と私村上の三名でセミナーに参加して来ました。

会場は同センターの入っている幟会館の6階のさほど広くない会議室でしたが50名程の受講生でほぼ満席でした。NPO法人として活動されている3社の実際の活動の報告を、NPOとして発足している人、これからしたいと思っている人、どのように人員を集めるか、資金をどう集めるか知りたい

私たちと同じようなグループ、人たちが参加していました。

受講者は机の無い椅子だけの席で、資料も団体のパンフレットが封筒にあるだけで、受講内容はプロジェクトクターで映し出される画面での勉強でしたので、全て記憶して帰る事はとても難しいセミナーでした。

しかし3社の団体の話は実際に活動されているいわば成功されている団体で、何のために始めたかどんな人が働いているか、どう資金を集め、どう活動しているかを説明をうけ、その話の内容はまず気構えとして大いに参考になりました。

ふぞろいプロジェクト

場所 広島市中区本川町1-1-22

設立 2009年4月3日

代表 中島 良尚

URL <http://fuzoroiproject.web.fc2.com/fuzoroi/index.html>

理念 *規格にこだわらず農家が生き残るために様々な工夫をして農家を守り育てる。

*三次市から始め、2012年より桜の塩漬けを使い和風ドレッシングを販売、ヒット商品となっている。

*他に三次市 東広島市に事務所

NPOの先輩として講師をされた団体は先ず広島市の「ふぞろいプロジェクト」の事務局長で団体の創立の頃より、活動の理解者があり、支援を受けながら徐々に活動を確立して、今は目玉商品を開発されている現状までの説明を、次の団体は「ふれあい館ひろしま」で地元の街で必要とされていた子

育ての支援をする施設として始め本場に役に立つ事業であったため、今は7項目の事業で活動し、市がその活動を評価し、すでに5つの部門で市の委託事業となっている活動の説明を、そして今回セミナーでメインの一番時間をとってあった東京に本部を持つ「かものはしプロジェクト」から日本事業総括の山元氏が活動の元となる資金に対する講義をされ、国際的な活動のなかで収入がある面は僅かであり、活動の中で資金集めとスタッフ集めが最も重要な事で、これについて、寄付金、補助金とかその種類と使い勝手、そして集め方については5W1Hの項目に分けてなるほどと思う説明をされました。

根本は自分たちの活動の趣旨をしっかりと広報、説明して会員やサポーター、ボランティア、スタッフとして協力してもらい、寄付や会費を受けれるように力を入れること、今日の私に求められたテーマ「ファンド・レイジング(資金集め)」ではなく大切なのは「フレンド・レイジング」を指すべきであるとの説明がなされました。

(次ページに続く)

(セミナー 続き)

しかし発表された3団体の活動と私たちの場合では、地域的な事、内容のつながりは低く、そのあとに行われた目標別に4つのグループに分かれての意見交換で「事業に関するお金」をテーマにした班が自分たちの聞きたい話に一番近いと思いきそのグループに加わり、

話し合うこととしました。

各グループに講習をされた団体の人とは別にサポーターとして、私たちのグループで言う金融機関の人も加わって、受講生の質問に答える方式で行われました。

このなかで、私たちの現状と、これからの活動目標等を言いかけましたが、まず講習をされた団体の方から一方的にダメ出しを受け、一般的に事業あって活動始めるのが鉄則で、収入を伴う事業を見出していこうとするのは順序が違っていると、私たちの聞きたい話にはなかなか到達できませんでした。

今回のセミナーはこれもNPO法人のひろしまNPOセンターの主催でしたが、セミナーの始まりにセンター長が居ながら挨拶もなく進行を確認するレジメもなく、講師で来られている人の紹介も講義の時までなく、ましてサポーターで参加されていた方々は、後でこんな人たちも来られていたんだと思うような進行で、このセンターも私たちと同じくNPOとして出来立てで講習会のやり方も勉強中なんだと思って帰ってからホームページを開いて見るとなんと19

かものはしプロジェクト

場所 東京都渋谷区広尾 長谷部第1ビル
設立 2002年 (NPO取得 2004. 9. 22)
代表 村田早耶香 / 青木 / 元木
URL <http://www.kamonohashi-project.net/about/>
理念 代表がカンボジアを訪れたとき、貧しい家の子供が売られ売春をさせられている現実をなんとかしたいとプロジェクトを組む。法人になるそれまでも困難を克服し、いま年間1億円を超える資金を得て動いている。

98年のNPO促進法の出来た頃から15周年を迎えるNPO法人であるとなっておりました。

活字や紙面での資料のない講習会の内容の報告をするのは受講生泣かせです。

この講習に私たちの団体では野郎が三名で参加しましたので、くだんの女史にあなただたちの団体は女性はいないのかと聞かれそんな

ことはありません、何人もおりますと言いましたが、「ふぞろいプロジェクト」の事務局長も「ふれあい館ひろしま」の事務局長も「ふれあい館ひろしま」の事務局次長も女性が説明にいられていて、男の三人や四人よりも女性一人の幹部がいる方がよっぽど役にたつ！とそのことを強烈に強調されて圧倒されました。

このセミナーを受けての結論として我が団体がしっかり発展して行くには、事務局長を女性にすることが先決で、そのためには藤井貢氏に性転換してオネエになってもらうしかないようです。・・・

NPO法人 陽だまり

場所 東広島市西条中央7-17-35
設立 2000年 (NPO取得2003年6月)
管理者 佐々木 政美
URL www.npo-hidamari.or.jp
理念 必要なサービスを私たち市民の視点で創りだす
事業 有料在宅福祉サービス
福祉有償運送。放課後子供預り
障害者訪問介護

時 2014年3月16日 所 神 辺 公 民 館

第1回 障害者相談支援ふれあいサロン 開催

主催 NPO法人福山市身連 相談支援事業部
新市・神辺・加茂・芦田・駅家 北部 5協会

福山市身連は昨年九月NPO法人に移行して半年、年度末を迎えようとしています。最初から事業を特定しての発足ではなく、障害者福祉という広い範囲の中で何項目かの活動案を検討中ですが、即行動に移すにはなかなか難しく、新年度からしっかり体制を整えつつ取り掛かっていこうとしています。

しかし今年度、法人化して何の事業もせず終わるわけにいかないと相談支援事業担当の三島副理事長を先頭に北部

5協会が共同して第一回のふれあいサロンを開催しました。

三月十六日午後から神辺公民館を会場に開催し神辺支所の保健福祉課の内山さんに、高齢者の多い会員たちの体調管理に関して講演をお願いして、その間に別室で障害者



に関する相談室を設けて、並行して相談も受ける事としました。その後は楽しく交流するためのビンゴゲームを計画されておりました。新年になってからも一段と厳しい寒さが続いていたましたが、当日は春の近さを感じる好天で、神辺公民館の二階の会場は、50名程の参加者の人で満席となる大変な盛会でした。

サロンは先ず、三島副理事長の挨拶で始まり、当日出席された鎌刈県身連会長にも一言挨拶をとお願いし、活動の意義を話していただき、そして

内山講師に約1時間、この時期峠は超えましたがインフルエンザやノロウイルスなどに対する予防や対応、消毒等についての講義を受けました。講師からどちらかかった人はと質問されま

したが、幸い出席の会員はこの冬インフルエンザやノロウイルスにかかった人はいなく、元気で冬を越えて出席されていたので、皆さんはその人なりの体調管理がうまく出来ておられるのだと思うと言われました。最後は歌は免疫の強化にとてもいいと、三百六十五歩のマーチを歌って終わりました。

講習が終わり少々休憩の後、皆さんに参加賞の電池とビンゴゲームのカードが配られ、ゲームが始まりました。

ゲームでは最初にビンゴになった人から十人に特賞として用意された賞品の中で好きなものをもらえ、その後の十人には百均で用意されたボールペンセット、そして残っていた菓子等を景品に楽しく盛り上がりました。

今回は試験的行事としての開催でしたが、北部5協会と言っても地区別では福山、松永地区以外のほとんどの協会でもあり、けっこう多数の会員さんが参加されて、相談や会員の親睦事業としてとてもいい活動成績であったと思われます。

広島県身体障害者団体連合会

平成二十五年度第二回総会

日時 平成二十六年三月二十日
場所 広島県健康福祉センター

広島県身連は三月二十日、新年度を見据えて、年度末第二回の総会を開き、二六年度の目標と行事案、そしてその予算案を当日午前の理事会に引き続き総会に提案し、ほぼ原案通りに可決されました。

福山市身連では、会員代表役員として出席されていた渡部氏が亡くなられ、その残りの任期を代わって務める事になった村上が出席して来しました。初めての参加で総会における立場がよく理解出来ておりませんでした。市身連関係では鎌刈会長、前川副会長、藤井理事が午前の理事会から引き続きの総会で、内容はしっかり把握されていると思います。

新年度の行事予定では、理事会と総会を一日で済ますのでなく、二週間ほどの間をおいて総会をす

べきという意見にそって日程を再

考すること

や、今年度

中四国大会

が中止になっ

た代わりで

はないが、

十一月末から海外へリハビリ旅行にハワイ旅行を予定しており、約三十万円の予算で、四月号の身障

通信で募集されると言われました。

又「自分力UP講座」として十月頃三次市、呉市等で講座を開き、

障害者の社会参加の推進や活性化を図る行事を予定されています。

予算案では新年度から県大会に県からの補助金のカットされ九万円が出なく、今年中四国大会が中止になり、その補助もカットで減額予算になるといふ説明でした。

県身連 事務局長交代

事務局長としてお世話されていた 木下直輝 氏が退職された後任として

小畑浩示（おばたこうじ）氏が就任され、お世話されます。

県身連として感じている事・鎌刈会長の説明

会長から別に説明があった事案で、県が主導しているアイサポート運動が、たまたま前日県がサポート企業を募集し、認証大会のような会を開き、その会場で参加企業の社員の数だけサポーターとしてカウントされ、県は何万人のサポーターが参加していると発表しているがこの運動に対し当事者には全く話し合うことなく福祉・福祉といかにも理解している様に言われることが本意ではなく県はもっと当事者と意見交換をして欲しいということでした。

ご利用下さい

すこやかセンター内
自動販売機

すこやかセンターが出来て以来、私達市身連が運営させてもらっている飲み物の自動販売機が正面入口を入って右側突き当たり、二台設置されているうちの一台（コカ・コーラのマークのある方）ですが、以前の説明で市身連のは明治乳業の方だと聞いている人が多く、出来るだけそちらを利用してきましたが、確認したところ、そうではなくて

この自販機で一す



コカ・コーラの方でした。

会員の皆さん、すこやかセンターにおいでの際は、いや、前を通りかかった時でも中まで入って、連合会のためこの自販機をどうぞご利用下さい。

福山市身連 3月（H25年度最終）連絡会

と き 2014年3月24日
ところ 福山市市民参画センター
ぎだい 障害者団体行事対応と新年度準備

- 1、ふれあいサロン開催についての報告
三島副理事長から開催の状況や参加者に関する報告
重藤事務局次長による開催までの経過や費用等の報告
- 2、第59回全国大会（5月 島根県で開催）参加の件
 - ・福山市身連でツアーを組みバス1台で20名程の参加を予定する。
 - ・前回予定していた宿を変更、全室洋室のホテルに宿泊（個室）
 - ・今年度中四国大会の中止があり、今大会の補助をして参加者個人負担を22,000円の予算に抑えておこなう。
- 3、広島県障害者スポーツ大会 参加の件
 - ・以前からの出場者には参加申込書が届くことになっており、本人が参加を申込みその他の人も、4月4日までに東広島か福山市に申し込む。
 - ・出場・応援で福山市身連仕立てのバス利用希望者は4月中に事務局（藤井武儀宅）にFaxすること。
- 4、新年度に向けてに準備
 - ・新年度予算を立てるため各事業部門の責任者は行事予定とその予算を出してもらうことにしていますが、揃っていない分は会計の方で割り振りしないと間に合わない
 - ・新年度日程として、決算等の年度末締め総務会を開催して、
4月20日 理事会（市民参画センター）を開催し、議事承認をへて
5月8日 総会（市民参画センター）を開催することを決定。
- 5、福山市へ申請
市への補助金申請のため、新年度予算を提出する必要があり、その書類については事務局に一任する。

特報

福山市身連 新事務所 開設へ

福山市身連は、活動の拠点となる事務所を会員個人の所有である中央ビルの部屋をいまとりあえず使用させてもらっていますが、ここ何年福山市に何とか市の施設等を使わせてもらえないかと陳情してきましたが、この年度末、その件を何とかしましょうと、対応してもらえることになりそうです。今まで車いすでの入室や、駐車場等で困難がありましたが、今回話になっているのは、佐波町の人権センターで、入口を入ってすぐ右側の資料室として使われていた部屋で、そこにある資料等を他の図書室等に移動して、部屋を開ける準備をして頂けることになるようです。

そこを使わせてもらえると、車椅子での出入りも、トイレも心配いらず、駐車場も大きな行事の日以外はほとんど心配なしで、大変便利になります。センターの準備が終われば連合会としても、移動のため事務手続きや、今ある事務器以外に必要なものを整えて、入居させてもらうのは6月中ぐらいになる模様です。

NPO法人 改めて知っておきましょう

？私たちの連合会が認可を受けたNPO法人とは？

1、法人とは

＊一般に法人というと会社みたいなもんじゃろうとなりますが、法人格と言われるように、人間のようには人格や権利・義務の主体として動ける、信用される組織・団体であること

2、NPOとは

＊頭文字を直訳すれば、金儲けを目的としない団体となり、正式には 特定非営利活動法人 と呼び、福祉や教育等の団体が多い

3、できた経緯

＊阪神大震災で多くのボランティアが活動しましたが、非常にやりにくく、それを解消し活動できるように1998年に促進法ができ、始まった

4、メリット

＊毎年県にその活動報告・会計の公開をして、団体としての信用を得ることで、行政の補助金を受けたり、事務所を借りたり、銀行口座を開ける
＊二十項目ある分野の中から目的とする活動内容（市身連は一番多い保健医療、福祉の部）を決め、役員4人会員10人以上が必要。県に申請し認可を受けて、活動できる。

6、問題点

＊一番は活動資金を得ることがなかなか難しい事です。収入があればスタッフに給料を払って事業を行うわけですが、市身連はまだそれがありません。最近では寄付金集めに力を入れている団体が増えていくようです。寄付をした方に政府も税金面で優遇しています。
皆さん余っている小遣いをどうぞご寄付を！

編集委員会より

我々市身連は年度途中でNPO

ります。

法人として認可されて半年余り、年度末を迎えましたのでこれまでの連合会の年度替わりと違い、法人として定められている事務処理、会計の処理をきっちりと、県へそのまま報告出来る形で取りまとめ

新年度とはいえ、総会時点で一ヶ月あまりは経過しており、いよいよNPO法人としての本格的な活動ができるよう、正念場を迎えることとなります。

資料として作成しなければならず、会計の白石氏は税理士にも依頼してその処理に連日のように対応に追われながら、総会前の理事会に間に合わせるよう頑張っておられました。

さいわい、六月頃から新しい事務所に移転して設備等も揃えば、今後の活動は今より使い勝手はいはずですから、会員の皆様にしつかり頑張っていたくには、幹部の役員が、はっきりした目標や、色々な情報を、徹底的に迅速に傳達して、対応出来るようになることとが、今一番求められていることだと思っています。

又活動報告等の事務処理のため事務局も分担して、総会資料の作成をし、五月初旬と決まった総会に間に合わせるよう頑張られてお

(M)

